



# ふっ素、シアン、フェノール類、アンモニア

煩雑な蒸留操作も自動で行えます!!

- 煩雑な蒸留操作も全自動型の連続蒸留装置を用いることで、全自動の測定ができます。
- 時間あたり20検体の処理速度で測定ができます。
- 土壌汚染対策法向けの塩酸抽出されたふっ素のサンプルもそのまま測定できます。
- SYNCA分析コンソールを2台並べることで、ふっ素とシアンを同時に測定ができます。
- オプションで、SYNCA1台でふっ素、シアン、フェノール類を測定できる仕様もあります。

ふっ素化合物：JIS K 0170-6 6.3.3 蒸留・ランタン-アリザリンコンプレキソン発色CFA法  
(JIS K 0102 34.4)  
シアン化物：JIS K 0170-9 7.3.5 4-ピリジンカルボン酸・ピラゾロン発色CFA法  
(JIS K 0102 38.5)  
フェノール類：JIS K 0170-5 6.3.3 リン酸蒸留・4-アミノアンチピリン発色CFA法  
(JIS K 0102 28.1.3)

## 基本機器の構成例

### 【ふっ素】

SYNCA 1ch ふっ素

サンプラー8(80本掛け)  
蒸留加熱槽用ミニポンプ  
分析コンソール 1台(ふっ素用)  
分析ソフト  
蒸留加熱槽  
パソコンおよびプリンター

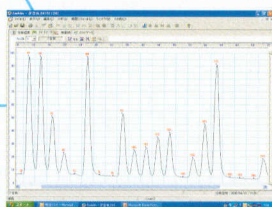
※オートシャットダウンは、オプションです。

### 【ふっ素とシアン】

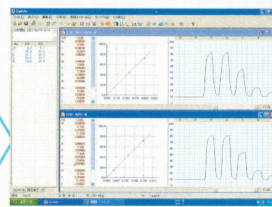
SYNCA 2ch ふっ素、シアン

サンプラー8(80本掛け)  
蒸留加熱槽用ミニポンプ  
分析コンソール 2台(ふっ素とシアン用)  
分析ソフト  
蒸留加熱槽  
パソコンおよびプリンター

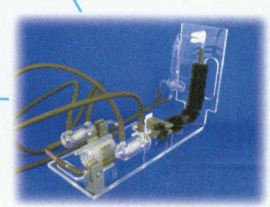
※オートシャットダウンはオプションです。



SWAANチャート



SWAANチャート



蒸留拡大図



SYNCA 2ch ふっ素、シアン